



Australian Government

# 多文化枠組みの見直し (Multicultural Framework Review)

## 多文化枠組みの見直しについて

オーストラリア政府は、多文化枠組みの見直しに関する報告を発表できることを喜ばしく思います。

この見直しは、オーストラリアの多文化社会の現状を検証し、その強みをさらに発展させつつ現代の課題に対応できるよう、法律、政策、制度設定における変更を提言するものです。

ブレント・ハス・デラル博士 (Dr Bulent Hass Dellal AO)、ニヤドル・ニュオン氏 (Ms Nyadol Nyuon OAM)、クリスティン・キャストリー氏 (Ms Christine Castley) の3人の著名なオーストラリア人が見直しを行いました。見直し委員会は、オズモンド・チュウ氏、スワティ・デーヴ氏、ラナ・エブラヒミ氏、パチャール・ホウリ氏、ジョン・カマラ氏、プレミラ・レバチ氏、モハマド・アル・カファジ氏からなる情報に精通した適切な準拠集団によってサポートされました。

政府は、33の言語による文書と35の言語による音声形式で、見直しに関する情報と意見・提出の呼びかけを公示しました。見直し委員会は796件の意見を受け取りました。126件の英語以外の言語で書かれた提出は翻訳され、その考えが伝えられました。また4歳から24歳の若い人たちに、多文化社会についての経験や見解を絵で表現してもらいました。彼らの作品103点は[\[hyper link\]](#)にて閲覧できます。

## 多文化社会のサクセスストーリーを持続させる

アボリジニとトレス海峡諸島民は少なくとも6万5千年もの間、この大陸で多くの文化を持続させてきました。彼らは植民地時代から彼らを根絶させようとする組織的、時には暴力的な試みに抵抗してきました。多文化社会の成功は、先住民の歴史と文化をより深く理解し称えることから始まります。

オーストラリア大陸への人々の移住は1788年に始まりましたが1945年以来、オーストラリアは、難民や人道的支援を必要とする95万人以上を含む750万人の移民を歓迎してきました。このような深い、しかし平和的な変化は国としての力と誇りの源です。

## 見直しから得られた主な知見

見直し委員会はオーストラリア全土を訪れ、1430人以上の個人と750以上の団体に意見を求めました。多くの洞察の中から、見直し委員会は以下のことを見出しました。

- 政府は差別を防止し、機会均等を促進する法律と政策を確立し、強力な公共サービスへのアクセスを提供しなければならないが、オーストラリアを住みかとするすべての人々もまた、多文化社会を維持する責任を共有するものである。
- 地方部のコミュニティはますます文化的に多様化しており、多文化を語る上で重要な役割を担っている。
- 多くの要素がオーストラリア人の多様な生活を形成している。政府は政策を立てる際に、交差性差別を考慮しなければならない。
- オーストラリアの多文化的な未来を決定するのは若者たちであり、若者たちが決定においてその中心的役割を果たすべきである。

見直し委員会による29の提言は、この見直しにおける次の3つの基本原則に基づいて作成されました。

- **つながり** - 政府各層とコミュニティとの間のリーダーシップ、計画、説明責任を通じて、多文化的なオーストラリアの基礎を築くこと。
- **アイデンティティと帰属意識** - 英語プログラムや市民権政策、また芸術、文化、スポーツ、メディアへの参加を通じて、人々を歓迎するオーストラリアを創造すること。
- **インクルージョン** - 文化的能力を公共サービスに組み込むこと、助成金プログラムをカスタマイズすること、デジタル・インクルージョンと強力な言語サービス部門の確保また、若者や地方部特有のニーズに応えること。

これは、オーストラリアの多文化主義についてこれまでに行われた見直しの中でも、最も実質的で思慮深いものです。政府は、オーストラリアの多文化環境においてオーストラリア人すべての才能を確実に生かし、この枠組みの原則に従うこと約束します。